

2021年 一橋大本番レベル模試（第1回） 世界史

採点基準

全3問 120分 150点満点

I (50点)

採点基準

(基準の合計62点→50点満点)

* アルビジョワ十字軍 (基準の合計20点)

[名称] アルビジョワ十字軍 3点

[過程①] 13世紀/フィリップ2世時代に始まった 2点

[過程② (目的)] 異端であるカタリ派 (アルビジョワ派) の制圧 3点

- この派が異端であると文脈からわからないもの、派の名前を挙げていないものは2点のみ

[過程③] (教皇) インノケンティウス3世が呼びかけた 4点

[過程④] ルイ9世がカタリ派討伐に成功した 4点

- 王の名前と十字軍の戦いの成果のいずれかが欠けている場合は2点のみ (例「ルイ9世が主導した」「フランス王はこの十字軍に勝利した」のみはいずれも2点のみ)
- 「ルイ9世」のかわりに「ルイ8世」としたものは2点のみ

[政治的変化] 王権の南フランスへの拡大 4点

- 領域について言及していないものは2点のみ (例「王権の拡大につながった」は2点のみ)
- 王権と関連させず南フランスについて言及しているものは2点のみ

例「アルビジョワ十字軍は南フランスで展開された」

* 北方十字軍 (基準の合計35点→22点満点)

[名称①] 東方植民/エルベ川以東への植民 4点

[名称②] 北方十字軍 4点

[過程① (目的)] スラヴ人への布教/スラヴ人の改宗 3点

- 「スラヴ人居住地域への植民を行った」など「改宗」に言及していないものは2点のみ

[過程② (目的)] プロイセン人の改宗/土地不足の解消 2点

[過程③] ドイツ騎士団が主導した 2点

[過程④] (ドイツ騎士団は) 第3回十字軍で組織された 2点

[過程⑤] 北欧諸国/デンマーク/スウェーデンが参加した 2点

[過程⑥] バルト海沿岸地域にドイツ騎士団領が成立した 4点

- 文脈から騎士団領の位置がわからないものは2点のみ

[政治的変化①] ドイツ騎士団領はのちのプロイセン (公国・王国) の土台となった 2点

[政治的変化②] (ドイツ騎士団/植民の動きに対抗するため) リトアニアがポーランドと同君連合を結んだ 4点

- 十字軍との関係が不明瞭な場合は不可
- リトアニアとポーランドが挙げられていれば表現は幅広く許容 (例「リトアニア=ポーランド王国が成立し

た」「リトアニアとポーランドが合わさりヤゲウォ朝が成立した」)

[政治的变化③] (ドイツ騎士団/植民の動きに対抗するため)カルマル同盟が結成された 2点

- 十字軍との関係が不明瞭な場合は不可

[政治的变化④] (③の同盟を構成したのは) デンマーク・スウェーデン・ノルウェー 4点

- 2つ以下は2点のみ

例「この同盟はデンマークのマルグレーテ女王が主導した」

* 2つの「十字軍」とパレスチナ十字軍との違い (基準の合計 20点)

[違い① (過程)] 2つの十字軍は目的を達成したがパレスチナ十字軍は失敗した 4点

[違い② (過程)] (パレスチナ十字軍の目的は) イスラーム教徒からの聖地奪還 4点

- 「聖地」の代わりに「エルサレム」でも可とするが「聖地」と書くよう添削で指導
- イスラーム教徒についての言及がない場合は2点のみ
- 聖地奪還について言及していないものは2点のみ

例「イスラーム教徒の討伐/改宗を目的とした」

[違い③ (政治的变化)] (パレスチナ十字軍は) ビザンツ帝国の衰退をもたらした 4点

[違い④ (政治的变化)] (パレスチナ十字軍は) 教皇権の衰退をもたらした 4点

[違い⑤ (政治的变化)] (パレスチナ十字軍は) イスラーム勢力によるキリスト教徒への弾圧が強まった 4点

II (50点)

採点基準

(基準の合計 87 点→50 点満点)

* 「イングランド」を「イギリス」と表現している箇所がある場合、全体で1点減点。

- ・ ただし「イギリス革命」「イギリス＝オランダ戦争」など歴史的事件の表記を除く

[メアリ1世①] カトリックを保護した 2点

- ・ 「カトリック教徒だった」といった記述は1点のみ

[メアリ1世②] プロテスタント／国教徒を弾圧した 2点

[メアリ1世③] フェリペと結婚した 2点

- ・ 「親スペイン政策」という表現の場合は1点のみ
- ・ 「フェリペ2世」の表記でも可とする

[メアリ1世④] イタリア戦争に参戦した 2点

[メアリ1世⑤] カレーを失った 1点

- ・ エリザベス1世の時代の出来事として言及しても可
- ・ カトー＝カンブレジ条約の締結がメアリ1世の時代の出来事だと述べている場合は加点しない

[エリザベス1世①] 国教会を保護した／確立させた 2点

[エリザベス1世②] 統一法を制定した 2点

[エリザベス1世③] カルヴァン主義の徹底／禁欲などを求めるピューリタンが生まれた 2点

- ・ ジェームズ1世の時代の出来事として言及しても可
- ・ ピューリタンの性質に言及していなければ不可

[エリザベス1世④] 私拿捕船（私掠船）がスペイン植民地／スペイン船を襲撃した 2点

[エリザベス1世⑤] ドレーク／ホーキンスが私拿捕船（私掠船）で活躍した 1点

- ・ アルマダの海戦で活躍した人物として彼らの名前を挙げていても加点する

[エリザベス1世⑥] オランダ独立を支援した 2点

[エリザベス1世⑦] アルマダ海戦で（スペインに）勝利した 3点

- ・ 相手がスペインであることが文脈上明らかであれば可とする

[エリザベス1世⑧] 東インド会社が設立された 2点

[エリザベス1世⑨] 東インド会社は（後世に）貿易を独占した 1点

[エリザベス1世⑩] 北アメリカ大陸にヴァージニア植民地が建設された 2点

- ・ 北アメリカ大陸への植民が進んだことに言及していれば幅広い表現を許容する

[エリザベス1世⑪] 重商主義を採用した 2点

- ・ 共和政の時期などこれ以降の出来事として言及しても可

[エリザベス1世⑫] ユグノー戦争に介入した／（この戦争で）新教徒を支援した 1点

[ステュアート朝①] ジェームズ1世がステュアート朝を創始した 2点

- ・ 「創始」「初代」などの表現がなければ不可

[ステュアート朝②] スコットランドと同君連合となった 2点

[ステュアート朝③] 国教会を保護した／王党派は国教会を支持した 2点

- 王が国教徒であったことを示すだけの記述の場合は 1 点のみ

〔ステュアート朝④〕（ジェームズ 1 世／チャールズ 1 世は）王権神授説を唱えた 2 点

〔ステュアート朝⑤〕（ジェームズ 1 世／チャールズ 1 世は）絶対王政を敷いた 2 点

〔ステュアート朝⑥〕（ジェームズ 1 世／チャールズ 1 世は）議会と対立した 2 点

- 「独立派」など具体的な勢力を挙げて可

〔ステュアート朝⑦〕ピューリタンの一部は新大陸に移住した 1 点

〔ステュアート朝⑧〕（その他のこの時代の出来事として）アンボイナ事件によりインドネシアから撤退した 1 点

- 事件の影響が不明瞭な場合加点しない

〔ステュアート朝⑨〕（その他のこの時代の出来事として）カリブ海地域へ進出した 1 点

〔ピューリタン革命①〕スコットランドで反乱が起きた 2 点

〔ピューリタン革命②〕（反乱の原因は）国教会の強制である 1 点

〔ピューリタン革命③〕ピューリタン（清教徒）革命／イギリス革命が勃発した 2 点

〔ピューリタン革命④〕チャールズ 1 世が処刑された 2 点

〔クロムウェル①〕イングランドは共和政となった／クロムウェルが政権を握った 2 点

〔クロムウェル②〕アイルランドを征服した 2 点

〔クロムウェル③〕スコットランドを征服した 2 点

〔クロムウェル④〕（その理由は）スコットランドは長老派／アイルランドは王党派／カトリックが強かった 2 点

〔クロムウェル⑤〕航海法を制定した 2 点

〔クロムウェル⑥〕（航海法の制定は）オランダの海上覇権に打撃を与えるため 2 点

〔クロムウェル⑦〕英蘭戦争が勃発した 1 点

〔英蘭戦争①〕（オランダから）イングランドに海上覇権が移動した 3 点

- 王政復古期時代の出来事として言及しても良い
- 「戦争に勝利した」など意義が不明瞭な記述は不可にする

〔英蘭戦争②〕ニューアムステルダムを奪った／ニューヨークと改称した 1 点

- ニューネーデルラント植民地の獲得に言及していれば可

〔王政復古①〕チャールズ 2 世はカトリックを保護した 2 点

- 「チャールズ 2 世はカトリックに改宗した」などの記述には加点しない

〔王政復古②〕ジェームズ 2 世はカトリック教徒であった 2 点

〔王政復古③〕絶対王政を敷いた 2 点

- 王政復古の時代も絶対王政が目指されたことがわかれば加点する

〔王政復古④〕（チャールズ 2 世／ジェームズ 2 世は）ルイ 14 世と協調した 3 点

- ルイ 14 世の名前を挙げず「親フランス政策をとった」などの記述の場合 1 点のみ
- 「議会はルイ 14 世を警戒した」などの記述も可
- ルイ 14 世の政策として南ネーデルラント継承戦争やオランダ戦争など具体例を挙げて可

〔名誉革命①〕議会在ジェームズ 2 世を追放した／ジェームズ 2 世は亡命した 2 点

〔名誉革命②〕ウィリアム 3 世とメアリ 2 世が即位した 2 点

〔名誉革命③〕 イングランドとオランダは同君連合となった 2点

〔名誉革命④〕 フランスと対立するようになった 2点

Ⅲ (50点)

採点基準

(基準の合計 71 点→50 点満点)

* 中ソ対立の始まり (基準の合計 35 点)

[ソ連の支援①] 中ソ友好同盟相互援助条約を締結した 2点

[ソ連の支援②] ソ連の(経済/技術)援助を受けた 2点

[ソ連の支援③] 第1次五カ年計画を進めた 2点

[ソ連の支援④] (第1次五カ年計画によって) 農業の集団化/工業化が進んだ 2点

- 第1次五カ年計画の意図や成果をある程度具体的に述べていれば可

[スターリンの死①] スターリンが死去した 1点

[スターリンの死②] (ソ連で) スターリン批判が行われた 2点

[ソ連の方針転換①] (スターリン批判の内容として) 大量粛清/個人崇拜/大国主義的振る舞いなど 2点

- 正しい内容が書いてあれば加点する

[ソ連の方針転換②] 資本主義国家/アメリカとの平和共存を目指した 3点

[中ソ対立の始まり①] 中国はアメリカ合衆国/西側陣営との対決を重視した 3点

- 「帝国主義」のまま表現されている場合 2点のみ

[中ソ対立の始まり②] ソ連を修正主義と批判した 3点

[大躍進運動①] ソ連に頼らない経済(農工業)を目指した 3点

[大躍進運動②] 大躍進(運動)を展開した 2点

[大躍進運動③] 人民公社を設立した 2点

[大躍進運動④] 人海戦術的な方法を用いた/専門技術が軽視された 2点

[大躍進運動⑤] 政策は失敗に終わった 2点

- 「経済が混乱した」「労働者や農民が疲弊した」など、政策失敗が分かる表現を幅広く許容

[大躍進運動⑥] 毛沢東は国家主席を辞任した 2点

- 「一時失脚した」などの表現は 1点のみ

* 中ソ対立の鮮明化 (基準の合計 15 点)

[中ソ対立の鮮明化①] 中ソの対立は公開論争に発展した 2点

[中ソ対立の鮮明化②] ソ連は中印国境紛争でインドを支持した 2点

- 中印国境紛争に関係して中ソ対立が発生したことが分かれば可

[中ソ対立の鮮明化③] ソ連が中ソ技術協定を破棄した 2点

- 協定に言及しなくとも技術者引き揚げ、技術支援停止などを記述しても可
- 大躍進運動失敗の要因として中ソ技術協定の破棄を用いている場合この項で加点する

[中ソ対立の鮮明化④] 中国はソ連のキューバ危機への対応を批判した 2点

[中ソ対立の鮮明化⑤] 中国は部分的核実験禁止条約を批判した 3点

[中ソ対立の鮮明化⑥] 中国が「プラハの春」におけるソ連の対応を批判した 2点

[中ソ対立の鮮明化⑦] 国境/ダマンスキー島(珍宝島)での軍事衝突が起こった 2点

- 発生場所が不明瞭な場合 1点のみ

* プロレタリア文化大革命（基準の合計 21 点）

〔プロレタリア文化大革命①〕 劉少奇／鄧小平が自由化政策をとった 2点

- 「調整政策」「いきすぎた社会主義の是正」など政策の方向性分かる表現を幅広く許容する

〔プロレタリア文化大革命②〕 毛沢東は彼らを修正主義者／実権派／走資派と批判した 3点

〔プロレタリア文化大革命③〕 毛沢東がプロレタリア文化大革命（文革）を呼びかけた 2点

〔プロレタリア文化大革命④〕 毛沢東は失った実権を取り戻そうとした 2点

- 文革が毛沢東の権力闘争であることが分かれば幅広い表現を許容する

〔プロレタリア文化大革命⑤〕 毛沢東に忠誠を誓う青年らによって紅衛兵が組織された 3点

- 紅衛兵の名を挙げるだけの場合 1点のみ
- 紅衛兵と毛沢東のつながりが分かる記述であれば可

〔プロレタリア文化大革命⑥〕 党幹部や知識人が批判／追放された 2点

〔プロレタリア文化大革命⑦〕 劉少奇／鄧小平／林彪が失脚した 2点

〔プロレタリア文化大革命⑧〕 「四人組」が文化大革命を推進した 2点

〔プロレタリア文化大革命⑨〕 文化大革命は中国社会に大きな傷跡を残した 3点

- 政策失敗が分かる表現であれば幅広く許容する